

- ・ 長尾先生:難題を実に分かり易くお話されて素晴らしいの一言です。また聴きたいです。
- ・ 訪問診療には関わっていましたが、次年度は訪問看護の立ち上げから関わっていく。このタイミングで本日の講演を聴講でき、力を頂いた。ありがとうございました。
- ・ 貴重な時間ありがとうございました。特に長尾先生は遠いところ本当にありがとうございました。愛読者です。終末期を考えることはいかに生きるか!!自分の人生をあらためて考えました。夫は是非(本人が希望するなら)在宅で!
- ・ 昨年9月自宅で父(81歳)を看取りました。認知症末期で誤嚥性肺炎で入院、2年半脳梗塞で食べられなくなり、医師に胃ろうをすすめられ断って自宅に退院。訪問サービスを受けながら19日後に亡くなりました。介護中長尾ドクターの本を読みました。平穏死出来て良かったです。来週末、この体験を公民館で話すことになりました。今日その参考にするため横須賀まできました。来た甲斐がありました。ありがとうございました。
- ・ 長尾先生のことは初めて知りました。TBSの特集を見てからヘルパーへの転職を考えるようになりました。(現在は資格所持のみ)以前ガンを告げられた親と同居しており、また独り暮らしのおばが、ガンの転移を告げられたタイミングでお話を聴きました。おばはホスピスか施設を探すつもりらしいのですが、改めて一緒に暮らして在宅ホスピスで暮らしてほしいと思いました。おばにも聴いて貰いたかったです。長尾先生の本を勧めたいと思います。
- ・ 長尾先生の本を既に読ませていただいておりました。今回直接お話しを聞くことができ大変うれしかったです。想像していた通りの雰囲気のある先生で良かったです。
- ・ 横須賀市医師会看護専門学校卒業生です。野村先生が市民病院にいらした頃に実習させて頂きました。野村先生の担当される肺癌の患者さんを受け持たせて頂いたことが私の看護の原点であることを改めて思い返しました。今は3児の子育てで離職しています。今日の講演は復職への後押しとなりました。ありがとうございました。
- ・ 生きる支援をしたい努めたいと思い活動しています。特に食べることの支援がこれから特に求められていくという長尾先生のお話に賛同し感動しました。生きている間は美味しく食べたい、食べて頂きたいですからこだわっていきたいです。先生の著書沢山読んでいきたいと思います。元気が出ました。ありがとうございました。
- ・ 訪問看護師として自身がかかわって初めて死というものに関わってから長尾先生、野村先生と同じ気持ちになりました。どんどん在宅での看とりをきちんと理解されている医師が増えてほしいです。
- ・ 枯れるように亡くなるのが本来望ましいと本日改めて認識しましたが、医療介護の現場ではいまだ難しいです。食べられない、飲めない状態をいかに判断し、いかに本人に最も良い状態で終末期を過ごせるように考えていきたいと思います。
- ・ 長尾先生のおかげで平穏死がよく理解出来ました。今後の医療の在り方で平穏死もありかと強く感じました。今日のシンポジウムに参加して良かったです。ありがとうございました。
- ・ とても良いシンポジウムでした。これからももっと具体的に在宅医療が普及し本人の希望どおりの死を迎えられることは素晴らしい
- ・ 当初考えていたよりずっと中身の濃い内容で大変勉強になりました。何かと病院任せにする日本人の意識を変えてくれる良いシンポジウムであり、参加できたことに感謝です。

長尾先生のブログ読者です。昨年6月脳腫瘍で母を亡くしました。本人の希望で最期は自宅で“管なし”でした。心残りがないとは言えませんが、全く知らないことばかりではない状態であの頃を迎えられた事は良かったと思っています。今日もたいへん考えさせられることがありましたが、自分も病を持つ身として賢い患者でありたいと思いました。

パネルディスカッションではおそらくパネリストの先生方と事前に打ち合わせをされたのだと思いますが、論点が分かり易く興味深いシンポジウムでした。またの開催を楽しみにしています。

長尾先生の本を読んで是非お話を伺ってみたいと思っていたので、お会いできて嬉しかったです。横須賀市民として年取り生きていく不安がある中、横須賀にも立派な在宅医療ができると安心しました。

横浜市で地域包括支援センター(地域ケアプラザ)を整備する仕事をやっており、その関連で関心があった勉強したいと思い参加させて頂きましたが、お話を聞くうちに家族の事、両親のことに思いをはせ、色々なことを考えるととても良い機会になりました。どうもありがとうございました。

横須賀市の病院の内容等詳しく分かりました。有意義なお話ばかり勉強になりました。長尾先生のお話もとても分かりやすく為になりました。

長尾Drの講演は素晴らしい講演でした。もう少し時間を増し先生の講演を聞きたいと思いました。パネルディスカッションも分かりやすい説明で少しずつ病院の機能がわかり、賢い患者になることが大切だと分かりました。今日の講演は勉強になりました。長尾Drのお体ご自愛をお祈り申し上げます。

長尾先生のお話はとても分かり易く、老いの道を歩む心得として大収穫のひとつでした。新年早々、時の経つのも忘れ聞き入ってしまいました。早速本屋さんへ足を向け手元で勉強したいと思います。遠方からの講演大変ありがとうございました。

1人暮らしでも在宅医療が可能でしょうか。今は何でも出来るのですが、今後どうしようかと心配しています。

私の兄が昨年4月ガンセンターでの1年4カ月の抗ガン剤治療、手術の結果、ガンセンターで亡くなりました。発見時は胃ガンステージ4期でしたが、病院の先生の言葉を信じて「戦うんだ」と言ってつらい治療も受けていました。家に戻ることをすすめましたがダメでした。タイミングが難しいです。

とても良いシンポジウムでした。これからももっと具体的に在宅医療が普及し本人の希望どおりの死を迎えられることは素晴らしい

私の80歳の母は昨年10月25日に救急車で運ばれて脳梗塞の治療を受けましたが、現在すでに植物状態です。お話を聞いていて何とか水で溺れ死ぬことより枯れて死ねる方法はないかと思い、在宅のすすめを見て、本日参りましたが、病院で溺れて苦しんで死ぬしか道はないのでしょうか？現在うわまち病院でお世話になっていますが、切ない限りです。本当に納得のいく魂魄のために自宅に連れて帰りたいです。これからタブー視されている分野にどんどん踏み込んで欲しいです。